

令和4年度事業計画

令和4年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下にあります。こうした中でも、会員減少をくい止め、新規の加入促進、就業機会の拡大が最大の課題であります。

政府は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え、未来社会を切り拓く「新しい資本主義」などを柱とする「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を策定し、国民の暮らし、雇用や事業を守り、経済成長の回復を進めています。

少子高齢化社会が進展する本市においては、新しい生活様式が求められる中、従来の枠組みにとらわれない新たなサービスの提供とこれまで以上に魅力あるシルバー人材センター活動が求められています。

当センターでは、高齢者就業機会確保事業の中心である剪定や除草作業などに就業する会員の高齢化と健康不安から、受注対応が厳しくなっており、より一層の安全対策強化に加えて、新規加入者の募集と作業会員の育成向上を図る必要があります。また、独自事業の運営においても会員の高齢化が進み、継続が困難な状況であり、新たな取り組みが必要となっています。

このため、「地域や会員に魅力あるセンター」を目指して、新規事業への参入及びシルバー事業の積極的な広報・情報発信を行い、第4次中期事業計画に掲げる三つの目標、「会員拡大・就業拡大・安全就業」の達成に取り組んで参ります。

特に今年度は、高齢者活用・現役世代サポート事業を拡充するとともに、独自事業の新たな取り組みと安全就業の徹底による事故撲滅に力を入れて参ります。

1. 基本方針

- 1 高齢者就業機会確保事業の推進
 - (1) 請負・派遣事業の充実、新規会員の入会促進
 - (2) 安全適正就業の推進
 - (3) 会員の資質向上及び能力開発
 - (4) 会員の社会活動の促進
- 2 独自事業の推進、新規開拓
- 3 羽咋勤労者総合福祉センター運営管理
- 4 組織体制の充実

2. 事業実施計画

1 高齢者就業機会確保事業の推進

(1) 請負・派遣事業の充実、新規会員の入会促進

高齢者の就業機会を確保し、雇用をサポートするためには、新会員の入会を強化し受託事業の拡充を図る必要があります。また、会員の健康と生きがい作りや地域社会に貢献する組織づくりを強力に推進していきます。

入会を促進するため、市内事業所や各家庭に向けて積極的な広告や宣伝を行い、シルバー事業での就業情報や就業会員を紹介するとともに、新規入会者の発掘と勧誘に努めていきます。

- ①市の「広報はくい」やシルバーホームページでのPR、市内公民館でのチラシ配布、更には新聞への折込などを行い情報発信していきます。
- ②普及啓発月間に合わせた清掃ボランティア活動や各種イベント活動、シルバーフェスタ開催での情報発信をしていきます。
- ③会員向け機関誌「シルバーだより」(年4回)やショートメッセージを活用し、就業募集情報、就業機会をお知らせするとともに、会員自らが新会員を紹介し入会を促進できる体制としていきます。
- ④指揮命令が必要な分野への就業は、公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会羽咋事業所として、会員に対して労働者派遣による就業機会の提供を行います。また、「臨時的・短期的・軽易な業務に係る就業」を希望する企業の求人については、就職希望の会員へ職業紹介していきます。
- ⑤役職員による民間事業所への訪問による就業開拓と情報提供を進めていきます。
- ⑥60歳以上の非会員と会員が参加する「シルバーはつらつ塾」等の各種講習会を開催し、新規会員の入会を促進していきます。
- ⑦毎週水曜日に入会者説明会を開催し、随時入会を進めます。
- ⑧入会促進と退会抑制のため、新たな会費制度を検討していきます。

(2) 安全適正就業の推進

会員が安全に就業できることが最優先であり、自らの健康状態や能力に応じた仕事を選択し、健康維持と安全確保に努め、事故「ゼロ」を目指し、意識の高揚と啓発に努めていきます。

- ①安全適正就業委員会を中心に推進計画を策定し、安全対策を強化推進します。
- ②安全パトロールの実施、結果分析の公表と安全適正就業を図ります。
- ③安全防具(ヘルメットや安全ベルト等)の着用、作業用具の点検整備・補充を図り、作業前点検を徹底し、人身事故や飛び石事故の撲滅に努めます。
- ④熱中症予防情報を適宜発信し、熱中症防止対策に取り組みます。

- ⑤安全就業と健康管理は不可分であり、特定健診などの受診を推奨し、会員の意識向上に努めます。
- ⑥機関誌「安全だより」の発行、講習会の開催など健康、安全意識の向上を図ります。

(3) 会員の資質向上及び能力開発

会員の多様な就業ニーズや技術・技能後継者の不足、顧客からの厳しいニーズに応え、会員の知識・能力を高め、資質向上や能力開発に努めます。

- ①石川県シルバー人材センター連合会が主催する支援と育成講習
刈払機作業に関する一般的な知識、安全対策を習得します。
- ②羽咋市シルバー人材センターが主催する研修、講習会等
剪定初任者技能講習、熱中症や就業中事故の応急処置講習など、技能・安全知識を習得します。
- ③安全運転講習
石川県交通安全協会の実施する「高齢者ドライビングスクール」に参加し、会員の安全運転に対する技能向上と意識啓発を進めます。
- ④熱中症予防情報を適宜発信し、熱中症防止対策に取り組みます。

(4) 会員の社会活動の促進

少子高齢化の進展により、弱体化する地域の支え手として活躍の場が広がっています。地域に貢献するセンターの取組みを積極的にPRし、信頼にこたえていきます。

同世代の支え手として、日常生活支援や家事援助のサービス事業に積極的に取り組み、会員のボランティア活動を継続して行います。

2 独自事業の推進、新規開拓

会員の働く機会を広げ、会員の自主性、自発性を尊重し、会員グループの創意と工夫により、会員自らの運営を基本に実施します。就業会員の高年齢化とコロナ禍の現状から、新規独自事業の開拓を進めていきます。

- ①剪定枝葉処理事業（通称：チップ事業）
ゴミ原料リサイクルの一環として、剪定枝葉を土壌改良材に加工してきましたが、原材料の入手が困難な状況となり、作業会員の高齢化も進み、事業継続が難しい現状から、事業終了を図っていきます。
- ②eco 農園事業
野菜、トウモロコシ、玉ねぎなど、通年栽培できるハウスや露地栽培により、新鮮な野菜を提供してきましたが、施設や農場、栽培管理に多大な負担が生じており、今年度で終了することとなりました。今後は会員個人での経験を活か

し、シルバー野菜を提供していきます。

③自然栽培米事業

経年作付けにより、地力低下が進む自然栽培の水田は、地力回復の必要があり、これまでの2年間の大豆転作による効果を確認し、栽培を継続していきます。

④独自事業の新規開拓

会員の皆さんや地域の方が求める新たな独自事業を発掘し、時代に合った継続できる新事業を開拓していきます。

3 羽咋勤労者総合福祉センター運営管理

羽咋勤労者総合福祉センターは、羽咋市の施設であり、羽咋市シルバー人材センターが指定管理の認定を受け、貸館事業や維持管理など全体運営を行っています。昭和63年10月に建物が竣工して以来、シルバー人材センターとともに歩んできました。

開設以来、30年以上経過しており、一部の耐震性能や屋上防水など大規模な改修が、今後数年間に羽咋市で予定されており、シルバー事業に支障のない対応となるよう調整していきます。

4 組織体制の充実

コロナ禍や会員減少により契約額が減少する中で、効率的な財政運営や理事会、専門委員会及び事務局が情報共有し、これまで以上に建設的な意見交換・提案を実践に移す必要があります。

情報共有の強化と他センターとの交流を深め、情報交換を進めることにより、発注者及び会員の期待に応えられる組織体制と資質向上に取り組んでいきます。